**守屋山山行**

**日時　平成24年5月30日**

**場所　長野県**

**参加　山行会メンバー　3名**

**守屋山は諏訪大社の神体として崇められている山で期待を込めて山行の参加。茅野駅まで船橋駅からあずさ3号で約3時間かかった。天気は良好、昨日は天候が不安定であったが、本日は安定していると天気予報は言っていた。しかし昨日の名残が抜けきれず、駅付近から見る山頂は雲の中に隠れていて、一抹の不安を感じた。タクシーで登山口まで4000円。この山の登山口は沢山あるようで、今回は立石登山口から登ることにした。山道は整備され、しかも岩もなくとても歩きやすい道であった。ウイークデーのこともあり、登山者は全く見受けられない。奇岩を観察しながら登山道を登る。暑くなく快適な山行を続けた。東峰（1630ｍ）に11時半ごろ到着したので、昼食とした。そこには先着組がいて、写真スポットのところにどっかりと腰を下ろし昼食中のおじさん、おばさん10名程度のグループであった。小沼さんがタイミングを捉えて、その場所を占有するのは宜しくないとやんわりと注意すると理解したようであった。東峰から15分程度で、西峰（1650ｍ）に到着、その途中よくこの山に登っているという地元の人から「フタバアオイ」の花を紹介された。山道の脇にひっそりとさいている、本当に地味な花である。（花色は黒、下向きに咲いている）頂上はからは360度の大パノラマを期待したのであるが、生憎昨日の名残があり、遠くにある山々の頭は雲の中に隠れてしまっていて、やや薄霞もかかりすっきりしない展望となった。約30分ぐらい頂上にいたが、少しずつ展望は改善の兆しを見せた。山頂を出発するころには八ヶ岳は全て姿を見せてくれた。頂上からは一気にスピードを上げ下山。登山口には予定よりも1時間近く早く下山した。途中町営の風呂で汗を流し、茅野駅の蕎麦屋で反省会を行った。帰宅は20時20分ごろであった。**